

【科研費応募支援ニュースレターNo.9】 発信日 230809 (水)  
タイトル\_科研費申請書の書き方：「わかりやすく」するために

教育職員各位

URA 高木敦子

いつもお世話になり、感謝申し上げます。URAの高木敦子です。

8月28日(月)の科研費申請の学内提出締切日が気になる頃となってきました。科研費応募支援ニュースレター、今回は、申請書の書き方に関する内容の最後、4回目です。

(独)日本学術振興会の小寺孝太郎氏セミナー、水谷夏樹先生・田原弘一先生・木元小百合先生による「学内講師による科研費セミナー」においてお教えいただいたこと、科研費関連本『科研費獲得の方法とコツ』(児島将康 著)、『できる研究者の科研費・学振申請書』(科研費.com 著)、『狙って獲りにいく! 科研費採択される申請書のまとめ方』(中嶋亮太 著)等からの情報、ささやかな自分の経験などから、エッセンスのみですが、本学でも一番申請数の多い「基盤C」申請を想定して、書かせていただきます。

科研費申請書作成において重要な点は、研究課題の重要性(新規性も含め)と実施可能性を審査委員に示すことです。これらがしっかりと書かれているのに、「わかりにくい」や「見た目が悪い」などで、採択されないのは、とてももったいないことです。とにかく「審査委員にストレスを与えない」という一言に尽きます。つまり、専門性がある程度異なる審査委員でも、1回読めば、理解できるようにすることです。論文査読の場合とは違い、審査委員の専門が申請者のそれと一致することはめったにありません。

なお、申請書の見た目の美しさに関しては、採択された申請書をパラパラとでも見てみると感じがつかめるのではないかと思います。産業研究所事務室に採択された先生の許可をいただき、閲覧できるようにしています。ご利用下さい。

今回は、申請書を「わかりやすくする」書き方について、以下の項目を述べます。

- (1) 「わかりやすくする」書き方
- (2) 「わかりやすくする」書き方：細部
- (3) 「美しくするには」
- (4) 「図」について

(1) 「わかりやすくする」書き方

- (1-1) 論理の飛躍はしない。審査委員が納得して読み進められるように。
- (1-2) シンプルに伝える。
- (1-3) 図の利用 (後述)
- (1-4) 専門用語は一言でも説明を入れるなどして、わかりやすく。そもそもその言葉を使う必要性があるかも考える。

(1-5) 抽象的でないこと。具体的に書くこと。

## (2) 「わかりやすくする」書き方：細部

(2-1) 英語・カタカナ語・略語・造語を濫用しない。

漢字とひらがなの比率は紙面の黒さをみて調節する。

(2-2) 1文が長すぎない、短すぎない。

普通は40文字前後、60文字以内。「、」を「。」に変えてみる。接続詞の前でいったん切る。1つの文章には1つの内容を書く。

(2-3) 強調や補足を使用しすぎない。強調方法は一つに統一する。

強調方法を組み合わせて使用するとうるさく感じる（強調するときに枠組みと網掛けを合わせて使用するなど）。

(2-4) 修飾語の順序や「、」の打ち方を気をつけることで、誤読（意味の取り違い）を起こさないようにする。

(2-5) 省略可能な言葉・文字は使用しないようにする。

「一性」「一化」「一的」など

(2-6) 書き言葉と話し言葉の違いを意識して、稚拙な表現を控える。

(2-7) 適切な漢字・ひらがなを使用する。申請書内では統一して。

(2-8) 日本語を正しく使う。

(2-9) 無理にへりくだらない。大袈裟な表現を避ける。

(2-10) 接続詞、助詞を適切に使う。

接続詞を多用しすぎない。使いすぎは文章の流れを損なう。

順接での「が」の使用は避ける。

## (3) 「美しくするには」

揃えられるところは全て揃える。「統一感」が大切。

フォントの種類とサイズ、行間（各項目のあとには必ず1行の余白を入れる）、余白の取り方、図の大きさ、文献の書き方、表記の仕方

表記の仕方では、書き方のゆれ（同じものを漢字で書いたり、ひらがなで書いたり）、送り仮名のゆれ、一人称のゆれ（申請者、応募者、我々など）が見られる。

文献の書き方において、統一されていないことが多い。

なお、本文は明朝体で、項目はゴシック体で書くのがわかりやすいと私は思います。本文を明朝体で書き、強調部分を明朝体の太文字にしたときは、印刷してみると、強調部分がどこかわかりにくいという印象を受けます。いろいろなパターンを試して、実際に印刷し、見比べてください。

## (4) 「図」について

文系の申請書でも、「図」は入れた方がいいと思います。体制図や研究のタイムコース図なども、あればいいと思います。

審査委員はたいてい、まず、タイトルと概要を見て、図を見ます。可能なら、図をみただけで申請内容が分かるような概要図があれば、わかりやすいと思います。そして

図には必ず説明を下に入れてください。本文を読まないでも、図を見るだけで理解できるようにしてください。

今回の申請書用として、図を新に作成するのがいいと思います。複数の図を使用する場合にも統一感ができます。自分の論文の図をそのまま用いると、余計な内容まで含まれてしまい複雑になり、見にくく、わかりにくくなります。英語の部分も日本語にしておく方がよいです。なお、他人の論文や官公庁のホームページの図をもってくるのは、引用文献名を書くとしても、やめましょう。

基盤Cの申請書は、令和6年度応募分は、まだ、カラーでは審査委員の元に行きませんので、カラーの図は白黒印刷しても、見やすいかを必ず確認してください。

完成近くになりましたら、申請書は、PDFにして、白黒印刷をしてから、何度も読み直してください。Webにアップする時も、ワードファイルでもできますが、PDFにしてからのほうがよいと児島先生も言われています。

その後、すこし寝かせて、初見の気持ちで再度、読んでみてください。とくに声を出して読むことはとてもいいと思います。変なところ、つかえるところなどがわかりやすいと考えます。また、他の方にも読んでいただきましょう。研究分担者は申請書が完成する前から関わっていますが、そうでない共同研究者やご家族などにも読んでいただき、ご意見を伺ってみましょう。

以上です。

学振の科研費申請締切りの9月19日過ぎまで、「科研費応募支援ニュースレター」は夏休みをいただきます。この期間、URAは科研費申請書のコメント依頼を受けたものについて、コメント作成に注力致します。依頼はメールでいつでも受け付けております(8atakagi@cnt.osaka-sandai.ac.jp)。なるべく早いうちにご利用下さい。

本学webサイト【研究・社会連携»科学研究費助成事業】ページ内に、科研費の応募支援に関する情報が掲載されています。

[https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid\\_scientific\\_research.html](https://www.osaka-sandai.ac.jp/research/grantinaid_scientific_research.html)

【ID: kenkyu パスワード : sanken3001】

これからも、科研費申請や研究に関し、情報共有のためメール発信させていただきたいと思っております。気軽にお付き合いいただき、なにかすこしでも先生方のお役に立てればと願っております。

ご不明点、ご意見などございましたら、メールでURA 高木敦子まで、お伝えいただきますよう、お願い致します。

暑さ厳しい中、コロナ禍もまだまだ収束していない中、ご健康に留意下さい。

ますますのお仕事のご発展を祈念申し上げます。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

失礼致します。